

## 第40回「放送文化基金賞」表彰対象について

### 放送文化基金賞

放送文化基金賞は、過去1年間(平成25年4月～26年3月)の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる開かれた賞です。40回目を迎えた今回は、全国の民放、NHK、それにプロダクションなどから、全部で276件の応募、推薦がありました。4月、5月の2か月近い厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、それにラジオの4つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞に15本の番組と演技賞や制作賞など個人に5件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術7件が決まりました。

受賞番組のうち最優秀賞は、テレビドキュメンタリー番組『E TV特集 三池を抱きしめる女たち～戦後最大の炭鉱事故から50年～』(NHK福岡放送局／NHK熊本放送局)、テレビドラマ番組『テレビ朝日開局 55周年記念 山田太一ドラマスペシャル「時は立ちどまらない」』(テレビ朝日)、テレビエンターテインメント番組『NHKスペシャル 足元の小宇宙 生命を見つめる植物写真家』(NHK)、ラジオ番組『In My Life ～介護の仕事と ビートルズと～』(北日本放送)に贈られます。

『日曜劇場 半沢直樹』(TBSテレビ)に出演した堺雅人さんと、『水曜ドラマ Woman』(日本テレビ放送網)に出演した満島ひかりさんに演技賞が贈られます。

また、個人・グループ部門・放送文化では、『南海放送 ドキュメンタリー映画「X年後」制作・自主上映グループ』などの3件が受賞します。放送技術では、取材現場で活用できる技術開発などで4件が受賞します。

受賞番組、受賞者には、賞牌・トロフィー、賞金が贈られます。賞金は、番組部門 最優秀賞—100万円、優秀賞—50万円、奨励賞—30万円、番組部門の個人賞—20万円、個人・グループ部門—30万円です。

### 贈呈式

放送文化基金賞の贈呈式は、平成26年6月25日(水)午後4時30分から千代田放送会館ホール(東京都千代田区紀尾井町)で行われます。

第40回「放送文化基金賞」表彰対象

1 番組部門—————15番組、5件

- (1) テレビドキュメンタリー番組……………5番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—3
- (2) テレビドラマ番組……………4番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (3) テレビエンターテインメント番組……………3番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—1
- (4) ラジオ番組……………3番組  
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—1
- (5) 個人……………5件  
「演技賞」——2件  
「制作賞」——1件  
「演出賞」——1件  
「出演者賞」——1件

2 個人・グループ部門—————7件

- (1) 放送文化……………3件
- (2) 放送技術……………3件、特別賞1件

お問い合わせ先 放送文化基金(担当 安部、川副)  
東京都渋谷区宇田川町41-1 共同ビル5F  
TEL(03)3464-3131  
<http://www.hbf.or.jp>

## 第40回「放送文化基金賞」受賞一覧

部 門	賞 (賞金)	受 賞 者	番 組 名 ・ 業 績	
番 組 部 門	テレビドキュメンタリー番組	最優秀賞 (100万円)	NHK福岡放送局、NHK熊本放送局	ETV特集 三池を抱きしめる女たち ～戦後最大の炭鉱事故から50年～
		優秀賞 (50万円)	BS-TBS	ドキュメンタリースペシャル フェンス ～分断された島・沖縄～
		(30万円)	南日本放送	どーんと鹿児島 千年後の森が見える 屋久島・山師の物語
		奨励賞 (30万円)	NHK	戦後史証言プロジェクト 日本人は何をめざしてきたのか 第5回 福島 浜通り 原発と生きた町
	(30万円)	NHK広島放送局	NHKスペシャル 終わりになき被爆との闘い ～被爆者と医師の68年～	
	テレビドラマ番組	最優秀賞 (100万円)	テレビ朝日	テレビ朝日開局55周年記念 山田太一ドラマスペシャル 「時は立ちどまらない」
		優秀賞 (50万円)	NHK	連続テレビ小説 あまちゃん
		(30万円)	TBSテレビ	日曜劇場 半沢直樹
		奨励賞 (30万円)	日本テレビ放送網	水曜ドラマ Woman
	テレビインタビュー番組	最優秀賞 (100万円)	NHK	NHKスペシャル 足元の小宇宙 生命を見つめる植物写真家
		優秀賞 (50万円)	NHKエデュケーショナル、NHK	ケンボー先生と山田先生 ～辞書に人生を捧げた二人の男～
		奨励賞 (30万円)	朝日放送	世界への挑戦状！行け！ジャバンプライド2
	ラジオ番組	最優秀賞 (100万円)	北日本放送	In My Life ～介護の仕事と ビートルズと～
		優秀賞 (50万円)	北日本放送	西村雅彦監督ラジオドラマ 「立山に想ふ 遠き日の約束」
		奨励賞 (30万円)	NHK名古屋放送局	FMシアター 金魚の恋、五十五年の夢
個人・グループ部門	放送文化	演技賞 (20万円)	堺 雅人	「半沢直樹」
		演技賞 (20万円)	満島ひかり	「Woman」
		制作賞 (20万円)	熊谷博子	「三池を抱きしめる女たち ～戦後最大の炭鉱事故から50年～」
		演出賞 (20万円)	三角恭子 水沼真澄	「足元の小宇宙 生命を見つめる植物写真家」
		出演者賞 (20万円)	川手照子	「In My Life ～介護の仕事と ビートルズと～」
放送技術	特別賞	(30万円)	板垣淑子 (NHK大型企画開発センター チーフ・プロデューサー)	現代社会が抱える課題を浮き彫りにした、優れたテレビドキュメンタリーの制作
		(30万円)	南海放送 ドキュメンタリー映画「X年後」制作・自主上映グループ	「棄てられた被ばく」を調査報道するドキュメンタリー映画「X年後」制作及び自主上映活動
		(30万円)	シリーズ「ふるさとの記憶」プロジェクト (NHK盛岡放送局、「失われた街」 模型復元プロジェクト)	津波で失われた被災地の営みを、かつての街並みを復元した模型や住民が語る記憶、発掘した映像で甦らせた
		(30万円)	加藤克行 (TBSテレビ)	「Ω FINDER (オメガファインダー)」の開発
放送技術	特別賞	(30万円)	ロケサポ開発チーム 代表 木村好信 (フジテレビジョン)	遠隔取材支援システム「ロケーションサポーター」の開発
		(30万円)	「スカイマップ」開発グループ 代表 中島 孝 (NHK)	ランドマーク表示システム「スカイマップ」の開発
放送技術	特別賞	(30万円)	ラウドネス導入プロジェクト (日本民間放送連盟、NHK、電波産業会)	日本のテレビ放送におけるラウドネス管理の導入

\*番組部門の各賞と個人・グループ部門は、受付順による。

第40回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビドキュメンタリー番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
ETV特集 三池を抱きしめる女 たち ～戦後最大の炭鉱事 故から50年～  平成 25. 11. 30 (土)  NHK福岡放送局 NHK熊本放送局	ディレクター 熊谷 博子 吉崎 健 撮影 中島 広城 大津幸四郎 音声 奥井 義哉 本多 崇 編集 大橋 富代 リサーチ 松岡美智子 映像技術 藤井 達也 音響効果 吉田みゆき 語り 青木 裕子 プロデューサー 岩下 宏之 制作統括 宮田 興 石津 雅 出演 松尾 蕙虹 山田 早苗 勝 清水 栄子 正重 首藤 心子 宏也 三穂 本岡真紀子 三村 孝一	1963年11月9日、福岡県大牟田市の三井三池炭鉱で起きた炭じん爆発事故。死者458人、一酸化炭素中毒患者839人を出す戦後最悪の労働災害だ。世の中は事故のことを忘れていたが、一酸化炭素中毒の夫を抱えた妻たちには何も終わっていない。 当時、その後遺症はほとんど残らないとされた。事故から3年後、国は約9割の患者に「職場復帰に支障がない」と労働災害補償の打ち切りを通告。脳を破壊された夫たちは記憶をなくし、人格が変わって暴力をふるうようになってきた。この半世紀、妻たちはそんな夫を抱きしめ、子どもを抱きしめ、事故を抱きしめ、日本最大の炭鉱であった「三池」を抱きしめて生きてきた。新たな法律の制定を求め、真っ暗な坑内で命がけの座り込み。“失われた夫の脳”の代わりもはたしてきた。自分が生きてきた証に、全患者の生と死の記録を残そうとする妻。新婚時代と同じ愛情でリハビリを続ける妻。 4組の夫婦のそれぞれの生き様は、国と企業に翻弄され、生活を奪われていった労働者と家族の姿だ。今日も彼女たちの変わらない日常が続く。	不治の患者である夫に寄り添って生きてきた妻たちに焦点をあて、患者やその妻たちが、事故後どのような苦難の人生を歩んだか、昔の映像も交えて、あますところなく伝えている。 理不尽な生を強いられた女性たちの半生を描いた映像は、人間の尊厳の偉大さ、美しさまで映し出した。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
ドキュメンタリース ペシャル フェンス ～分断さ れた島・沖縄～  平成 25. 12. 15 (日)  BS-TBS	プロデューサー 真木 明 取材 松原 耕二 総合演出 初瀬川啓太 ディレクター 多田 裕貴 両坂 省吾 アシスタント 青木絵未梨 ディレクター 津崎 栄作 選曲 小山 菜美 ナレーション	基地問題で揺れる沖縄。人々の本当の思いはどこにあるのか、フェンスの外側と内側で、ありのままの声を聞き続けた。軍用地主、米兵相手のバー経営者、サトウキビ農家、漁協幹部、ダンススクール経営者…フェンスの外側に、多様な立場と意見があるのと同様に、内側にも奨学金動機の子供たち、家族を本国に置いてきた女性下士官など、さまざまな顔があった。この下士官は言う。「基地反対の人と会ったこともない」。オスプレイ追加配備でフェンスの外側が騒然とするなか、取材班は内側で暮らす海兵隊員たちの記録を続けた。そして、双方に相手側のビデオを見てもらったとき、返ってきた反応は。	これまで幾度となく問われてきた沖縄の基地をめぐる「沖縄と本土の対立の構図」にフェンスの向こうの駐留アメリカ軍への取材を加え、形骸化する沖縄問題を改めて直視させた。

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>どーんと鹿児島 千年後の森が見える 屋久島・山師の物語</p> <p>平成 26. 2. 26 (水)</p> <p>南日本放送</p>	<p>ナレーション 美坂 理恵 朗読 實吉 国盛 撮影 牧 尚聖 田之畑勇作 VE 青山 尚史 山崎 麗桜 ディレクター 山下浩一郎 プロデューサー 諏訪園真人</p>	<p>屋久島では山の仕事に従事する者を、「山師」という。高田久夫さんは17歳で山の仕事につき、以来60年近く屋久杉と向き合ってきた。屋久島の山と森を最も知る山師。屋久島の森は、戦後の経済成長とともに大規模な伐採が行われ、大量の屋久杉が伐られた。人と自然がせめぎ合った時代に、高田さんは苗木を植え続け、森の再生を試みてきた。屋久杉が保護され、高田さんは江戸時代の切り株を伐り出す仕事につく。巨木を伐る技を継承し、恵みを頂く山の神への感謝を忘れない。傷ついた森の復活を願い、森とともに生きる精神は、若い山師たちに引き継がれていく。</p>	<p>番組は屋久島の自然と人の営みを活写し、山師を通じ労働の神髄を考えさせられる。 地域に根ざす民放局の深い思いやりに魅せられる。</p>
<p>戦後史証言プロジェクト 日本人は何をめざしてきたのか 第5回 福島 浜通り 原発と生きた町</p> <p>平成 26. 1. 4 (土)</p> <p>NHK</p>	<p>語り 広瀬 修子 撮影 青木 智紀 渡瀬 竜介 照明 大住 佑介 音声 松村 市郎 水浪 朋洋 音響効果 日下 英介 映像技術 松本 浩治 編集 西條 文彦 リサーチ 鈴木 正徳 ディレクター 浜田 裕造 古屋敷将司 池座 雅之 制作統括 塩田 純 太田 宏一 東野 真</p>	<p>原発事故で多くの人々が避難生活を余儀なくされている福島県・浜通り地方。福島第一原発はなぜここに立地されたのだろうか。 敗戦後、現金収入の少ない浜通りの生活は厳しく、多くの人々が出稼ぎに出た。福島県は原発を誘致し、新たな雇用が生まれたが、初期の運転トラブルに対する疑問から反対運動も生まれた。しかし、運動のリーダーだった岩本忠夫さんは、地元・双葉町の町長に就任すると原発の増設を求めていった。その影にどのような社会的背景があったのか。大熊町・双葉町の町民、福島県、国、東電…多角的な証言で原発と生きた町の戦後を明らかにする。</p>	<p>福島原発の崩壊により故郷を去ることを強いられた双葉町の、過疎化ゆえに原発を誘致せざるを得なかった苦悩の歴史を追い、報道取材のあるべき姿に貫かれている。</p>
<p>NHKスペシャル 終わりなき被爆との闘い ～被爆者と医師の68年～</p> <p>平成 25. 8. 6 (火)</p> <p>NHK広島放送局</p>	<p>制作統括 井上 恭介 柄子 和也 ディレクター 夜久 恭裕 長野 怜英 取材 市川 衛 撮影 森下 晶 編集 川神 侑二 音響効果 小野さおり 語り 伊東 敏恵</p>	<p>被爆から68年たった広島・長崎で、「第2の白血病」といわれる不治の病、MDS（骨髄異形性症候群）を発病する被爆者が相次いでいる。原爆が投下された時、放射線が人の体を貫き、遺伝子に残した傷。それが「時限爆弾」となり、様々な病気となって被爆者を苦しめてきたことが、医師たちの長年にわたる研究で、ようやくわかってきた。「自分の中にいる原爆」に打ち勝とうとする被爆者と、被爆者に寄り添いながら、発病のメカニズムを明らかにし、治療法を見いだそうとする医師。終わりなき闘いを見つめる。</p>	<p>放射線を浴びた後遺症でDNAまでが傷つけられ、今も苦しめられている被爆者の現状を告発するものであり、被爆ドキュメンタリーの歴史の新たな年輪と言える作品である。</p>

**第40回 放送文化基金賞**  
**「番組部門」**  
**－ テレビドラマ番組 －**

**最優秀賞**

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
テレビ朝日開局55周年記念 山田太一ドラマスペシャル「時は立ちどまらない」  平成 26. 2. 22 (土)  テレビ朝日	脚本家 山田 太一 監督 堀川とんこう 音楽 沢田 完 チーフ 五十嵐文郎 プロデューサー 内山 聖子 プロデューサー 飯田 爽 プロデューサー 内堀 雄三 出演 元信 克則 中井 貴一 柳葉 敏郎 樋口可南子 黒木メイサ 神木隆之介 渡辺 大 岸本加世子 倍賞美津子 吉行 和子 橋爪 功 ほか	東北の海沿いの街でふたつの家族の顔合わせが行われていた。信用金庫の支店長で小高い丘に暮らす西郷良介(中井貴一)の娘・千晶(黒木メイサ)と、良介の中学時代の同級生で漁師の浜口克己(柳葉敏郎)の長男・修一(渡辺大)の結婚に向けた両家の食事会だ。市役所勤めでキャリアを望む千晶を漁師の嫁に迎えることに、両家は複雑な思いがあったが、最終的に両家は結婚を認めることになり、笑顔の宴席になった。 その5日後・・・2011年3月11日。東日本を襲った地震と津波が、ふたつの家族の運命を大きく変えた。浜口家は家も船も流され、克己の母も妻も修一までも死亡。残されたのは克己と父・吉也(橋爪功)と次男の光彦(神木隆之介)の男3人だった。一方の西郷家は高台のため被害をまぬがれ、妻・麻子(樋口可南子)、母・奈美(吉行和子)ともに全員無事だった。良介は、自分たちだけ被害をまぬがれたことが心苦しく、何かと浜口家の力になりたいと世話をやくだが、克己たちは強硬に拒み、大暴れして・・・!?!	震災後3年たった今だからこそ描けるドラマとなっている。フィクションでなければ伝えられない被災地の真実を登場人物ひとりひとりに寄り添って、繊細に描いている。 山田太一さんの台詞の行間に潜んでいる人の世についての深い声が、観る者の心を掴む作品となっている。

**優秀賞**

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
連続テレビ小説 あまちゃん  平成 25. 4. 1 (月) ～9. 28 (土) <全 156 回> 応募は第 133 回、 第 156 回  NHK	作 宮藤官九郎 音楽 大友 良英 出演 能年 玲奈 小泉今日子 宮本 信子 薬師丸ひろ子 尾美としのり 杉本 哲太 松田 龍平 古田 新太 荒川 良々 橋本 愛 ほか 制作統括 訓覇 圭 演出 菓子 浩 井上 剛 吉田 照幸 梶原 登城 西村武五郎 桑野 智宏	東北の田舎町に誕生した1人の“地元アイドル”の物語。 高校2年の夏休み、母に連れられ初めて北三陸にやってきたヒロイン・アキは、現役の海女を続ける祖母と出会う。人生で初めて出会った「カッコいい!」と思える女性だった。アキは海女になることを決意し、女3代は故郷で暮らし始める。やがて、東京では地味だったアキが、別人のような輝きを放ち始める。 故郷を愛し「町おこし」に奮闘するアキが、過疎に悩む小さな町を笑顔に変えていく。東日本大震災から2年後の4月に放送を開始。人気脚本家・宮藤官九郎が、復興を目指す日本の朝に贈る人情喜劇。	これまで朝の連続ドラマ小説を視聴していない層をくぎ付けにし、放送終了後、“あまロス”現象を起こした革新的作品。 震災を描きながらも、心の痛みをデリケートに包む、優しく明るいドラマは、多くの人を元気づける作品に仕上がっている。

## 奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>日曜劇場 半沢直樹</p> <p>平成 25. 7. 7 (日) ~ 9. 22 (日) 〈全 10 回〉 応募は第 1 回</p> <p>TBSテレビ</p>	<p>演出 福澤 克雄 プロデューサー 伊與田英徳 飯田 和孝 脚本 八津 弘幸 音楽 服部 隆之 技術 浅野 太郎 美術 西條 貴子 演出スタッフ 棚澤 孝義 田中 健太 出演 堺 雅人 上戸 彩 香川 照之 北大路欣也 及川 光博 倍賞美津子 笑福亭鶴瓶 片岡愛之助 石丸 幹二 赤井 英和 ほか</p>	<p>1992年、バブル末期、東京中央銀行に入学した半沢直樹。実は実家の工場が貸し剥がしに遭い、父親を自殺に追い込んだのが他ならぬ東京中央銀行だった。半沢の心には、父を奪った銀行への復讐と、町工場が支える日本経済の発展という、相入れぬ野望があった。この物語は半沢直樹が大阪西支店融資課長として解決した5億円の不正融資事件から、本店営業第二部時代に120億円もの損失から再建した伊勢島ホテルの話題材に、父を奪った大和田常務への復讐、渡真利、近藤ら同期入行組との友情など様々な人間模様を描いた、銀行を舞台にした人間ドラマである。</p>	<p>その後展開するドラマのあらゆる要素が初回に詰め込まれているところからも、ドラマの完成度の高さがうかがえる。</p> <p>「倍返しだ」の名ゼリフで日本中を湧かせたことは、テレビドラマの枠を越えて、社会現象ともなった。</p> <p>堺雅人さんの演技力もまた、ドラマの完成度の高さに大きく貢献している。</p>
<p>水曜ドラマ Woman</p> <p>平成 25. 7. 3 (水) ~9. 11 (水) 〈全 11 回〉 応募は第 1 回、2 回</p> <p>日本テレビ放送網</p>	<p>プロデューサー 次屋 尚 千葉 行利 大塚 英治 演出 水田 伸生 相沢 淳 脚本 坂元 裕二 出演 満島ひかり 田中 裕子 小栗 旬 二階堂ふみ 谷村 美月 三浦 貴広 鈴木 梨央 小林 薫 ほか</p>	<p>現在、全国に120万人を超えと言われるシングルマザーたち。彼女たちの平均年収は200万円余り。そんな過酷な経済状況で、ひとり子育てする彼女たちの精神的負担は計り知れず大きい。いつしか社会や世間から取り残され、貧困と疲弊の連鎖の中で、明るい将来をみつけることは非常に難しいのが現状である。このドラマは、そんなシングルマザーを主人公に、貧しいながら愛すべき我が子のため、命をかけて生きる女性のたくましく生き様を描いた物語。非婚化や若年貧困問題を抱える現代社会を生きるすべての若者達へ向けにおくる応援歌である。</p>	<p>シングルマザーの女性の心の叫びを見事に表現したドラマである。支え合う母子を中心に、家族の崩壊と再生、現代に生きる“女性”たちの心の闇を描き、観る者の心をわしづかみにする、力のある作品。</p> <p>満島ひかりさんが、シングルマザーの役を見事に演じている。</p>

第40回 放送文化基金賞  
「番組部門」  
— テレビエンターテインメント番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
NHKスペシャル 足元の小宇宙 生命を見つめる植物 写真家  平成 25. 7. 6 (土)  NHK	撮影 関 裕一 伊藤 浩美 音声 土肥 直隆 音声・照明 増田 隆 映像技術 藤野 和也 音響効果 飯村 佳之 編集 澤村 宣人 中澤 和彦 取材 井上 智広 ディレクター 三角 恭子 水沼 真澄 制作統括 浅井 健博 出演 埴 沙萌 杉山 雅子 中嶋 朋子 野島 健児	山里のありふれた草花には、驚くべき命の営みが隠されている。余分な水分を排出し、宝石をまとったように輝く草の葉。湿度の変化によって、小さな人形のように踊り出すツクシの胞子。機械のような精密さで遠くに種を飛ばす草花。そして、美しく幻想的に舞うキノコの胞子。 その尊い植物の営みを撮り続けるのは、植物写真家の埴沙萌さん、82歳。群馬県みなかみ町にある自宅の庭や周辺の山里で、はいつくばって、寝転がって、私たちでは到底気づかない極小の命を次々と発見していく。 埴さんのレンズを通すと、一見地味な植物の風景が、躍動感あふれる驚きの世界へと変わる。埴さんと一緒に、珠玉の映像と美しい詩で、小さな命の輝きを見つめた。	地味な題材ながら、82歳の植物写真家の姿と言葉は楽しく、ほほえましく、植物の生命の輝きを生き生きととらえた映像芸術ともいえる番組。 取材対象者である植物写真家の埴さんに頼りすぎず、作り手の制作視点が明確に感じられる。 また、超高速カメラの映像と埴さんが撮った写真がうまく番組の中で融合していた点も高く評価したい。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
ケンボー先生と山田先生 ～辞書に人生を捧げた二人の男～  平成 25. 4. 29 (月)  NHKエデュケーショナル NHK	ディレクター 佐々木健一 制作統括 戸沢 冬樹 高瀬 雅之 出演 薬師丸ひろ子	国民的国語辞書に秘められた人間ドラマ。累計約二千万部。独特の語釈や用例で知られ、日本で最も売れている『新明解国語辞典』。その生みの親である山田忠雄が『新明解』を生み出す背景には一人の男との決別があった。その男とは、累計約一千万部の『三省堂国語辞典』を編んだ見坊蒙紀。東大の同級生として二十代の頃から協力し、理想の辞書を追求していた二人は、ある日を境に決別。その後、全く異なる二つの辞書を生み出し、改訂作業を続けた。辞書に人生を捧げた二人の男の情熱と相克、そして「ことば」を巡る人間の本质と宿命を描いた。	辞書編纂というおよそテレビとは縁遠い仕事に生きた二人の男の生涯を分かりやすく、心にしみる上質なエンターテインメントに仕上げている。 2冊の辞書と二人の人生のエピソードを一つのスタジオに盛り込んだアイデアは秀逸。

## 奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>世界への挑戦状！ 行け！ジャパンプラ イド2</p> <p>平成 26. 1. 5 (日)</p> <p>朝日放送</p>	<p>プロデューサー 吉川 知仁 上野 晴弘 田中 和也 成瀬 広靖</p> <p>総合演出 ディレクター 野澤 尚弘 大塚 正史 川村 公人</p> <p>出演 加藤 浩次 おぎやはぎ 剛力 彩芽 小島瑠璃子 槇野 智章 松木安太郎 吉本 実憂</p>	<p>グローバル化で世界が切磋琢磨している。私達が誇りにしている文化、一番だと思っているものは世界でどう見えているのか？身びいきではない、真の評価はいつたいい？そこで、日本の第一人者が海外、アウエーの地で勝負。第2弾となる今回の対決は、花火と寿司。日本の夏の風物詩とも言える花火だが、イタリアが花火大国だということあまり知られていない。アマルフィ海岸で 100 人のイタリア人が日本とイタリアの花火を審査。そして前回スペインに負けた寿司はアメリカ西海岸で対決。現地の味の好みを乗り越えて日本の寿司は勝てるのか？</p>	<p>見る者に、最後までエンターテインメント性の高いドキドキハラハラ感を味あわせてくれる。</p> <p>長い準備期間をかけ、きちんと取材をし、細部に至るまで手を抜くことなく、見せ場を見事に計算しつくしたバラエティである。</p>

第40回 放送文化基金賞

「番組部門」

— ラジオ番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
In My Life ～介護の仕事とビートルズと～  平成 25. 5. 27 (月)  北日本放送	制作統括 土肥 尚彦 構成・演出 佐伯和歌子 ・ナレーション ミキサー 荒井 康寿 朗読 陸田 陽子 出演 川手 照子 地主 直之 石浦 昭雄	去年4月、ビートルズのカバーアルバムCD「グッドナイト」が全国発売された。歌っているのは川手照子さん、54歳。優しく包み込むような歌声を持つ川手さんの本業は、グループホームのホーム長、認知症ケアのスペシャリストである。今では「天職」と語るこの仕事も人前で歌うビートルズも、川手さんにとっては第二の人生である。 「私は夫に出会って女になって、夫と結婚して親になって、夫と死に別れて大人になったんだと思うんです。」大恋愛のすえ結婚し、3人の子供に恵まれた川手さん。幸せの絶頂だった35歳の時、突然夫を病気で亡くし、それからは毎日「早く夫に迎えに来てほしい」と思い続け、抜け殻のように生きてきたという。そんな彼女を奮起させたのが、40歳を過ぎてから出会った「介護の仕事とビートルズと」であった。番組では川手さんが歌うビートルズの名曲に乗せて、彼女の半生を振り返りつつ、介護の現場で働く今を伝える。	介護の仕事とビートルズという意外な組み合わせと、川手さんの心に染み入るような歌声が聴き手を魅了する。 川手さんのドラマティックな半生と介護の現場で働く今を、インタビューと彼女自身が歌うビートルズの曲を織り交ぜながら浮き彫りにしていく構成も巧みである。 ラジオの特性を生かし、肉声や歌声によって人間力を表現した完成度の高い番組。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
西村雅彦監督ラジオドラマ 「立山に想ふ 遠き日の約束」  平成 25. 8. 17 (土)  北日本放送	監督・出演 西村 雅彦 演出 大木 玉樹 制作統括・脚本 土肥 尚彦 企画・プロデューサー 武道優美子 ディレクター・編集 柴田 明夫 ディレクター 開 麻美 音効 古川 貴彦 脚本 藤井 青銅 出演 萩原久美子 八十島清一郎 大野 瑞恵 岩木 秋河 富山高校放送部の皆さん	太平洋戦争で市街地の99.5%を焼失した富山大空襲で唯一焼け残った老舗デパート「富山大和」が去年5月に取り壊された。大学入学を機に祖母の家に同居することになった詩織は、祖母に頼まれ解体现場の様子をスマホ写真に収めていた。そこで詩織は、宮城県出身で東日本大震災の被災者である雄斗と出会う。2人は交流を深めるうちに、詩織の祖母と気仙沼に住む雄斗の祖父とが戦争で生き別れた幼馴染であることを知る。空襲被害者を弔うために始まった8月1日の花火大会の日に、お互い死んだと思っている2人を引き合わせようと計画する2人の孫たちの物語。	富山出身の俳優・西村雅彦氏が故郷の市民とともに作り上げたドラマで、題材も地域性にこだわったチャレンジ精神みなぎる力作。 聴くうちに自分も番組に参加しているような気持ちにさせられる新しい形のラジオドラマに仕上がっている。 地方局ならではの取り組みとしても注目に値する。

## 奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>FMシアター 金魚の恋、五十五年の夢</p> <p>平成 26. 3. 15 (土)</p> <p>NHK名古屋放送局</p>	<p>制作統括技術 音響効果 演出 デスク 出演</p> <p>伊佐治弥生 青木 信也 浅井 英人 森下あすか 大西 斎 佐藤 譲 櫻井 壮一 林 隆三 能世あんな 藤野 友也</p>	<p>人はどれだけ長く一人の人を愛し続けることができるのか…。</p> <p>二人が出会ったのは55年前、東海地方を伊勢湾台風が襲った夜だった。父母と離れ離れの不安な中、男は一人の女性に恋をした。それ以来、男はその女性を思い続けた。</p> <p>そして、二人が人生の終幕を迎えようとした時、その思いは初めて報われる。</p> <p>高度経済成長期を鉄道車両作りで支えた男と、日本有数の金魚産地・弥富で土地と家族を守り続けた女。二人の長い長い愛の物語を、美しい尾張ことばと、懐かしい歌謡曲を交えて描く。</p>	<p>愛知県弥富市の金魚をモチーフに、巧みな音響効果によって、金魚の動きのイメージを、シュールに、また鮮やかに視覚化した点が印象的である。</p> <p>主役の林隆三氏の時にユーモラスな語り口が、男の純情のおかしみ、大人のメルヘンの味わいを醸し出し、番組を魅力的にしている。</p>

## 第40回放送文化基金賞

### 「番組部門」

#### 演技賞

受賞者	対象番組	選考理由等
さかい まさと 堺 雅人	半沢直樹 (TBSテレビ)  テレビドラマ番組	半沢直樹という役を完全に自分のものとして演じた。俳優堺雅人の演技力があってこそ「ドラマ半沢直樹」であり、番組の評価を決定づけた。

#### 演技賞

みつしま 満島 ひかり	Woman (日本テレビ放送網)  テレビドラマ番組	必死に生きるシングルマザーの繊細な感情の流れを見事に演じ、観る者の心を掴んだ。
----------------	-------------------------------------	---

#### 制作賞

くまがい ひろこ 熊谷 博子	三池を抱きしめる女たち  〔NHK福岡放送局〕 〔NHK熊本放送局〕  テレビドキュメンタリー番組	丁寧なインタビューと深い取材によって、優れた作品に仕上げた。
-------------------	--	--------------------------------

#### 演出賞

みすみ きょうこ 三角 恭子 みずぬま ますみ 水沼 真澄	足元の小宇宙 生命を見つめる植物写真家 (NHK)  テレビエンターテインメント番組	植物写真家の日常を取材対象者に頼りすぎずに撮影し、映像のどの部分を切り取って番組に活かすのかというディレクターの制作視点が明確に感じられる。
--	--	--

#### 出演者賞

かわて てるこ 川手 照子	In My Life ～介護の仕事と ビートルズと～ (北日本放送)  ラジオ番組	川手さんの人間力あふれる語りと、彼女の歌声が奏でるビートルズの素晴らしさが番組の要である。聴く者に、ラジオならではの感動を呼び起こさせた。
------------------	---	---

**第40回放送文化基金賞**  
**「個人・グループ部門」**  
**－ 放送文化 －**

受賞者	業績	業績内容・選考理由
板垣 淑子 (NHK大型企画開発センター チーフ・プロデューサー)	現代社会が抱える課題を浮き彫りにした、優れたテレビドキュメンタリーの制作	1994年NHK入局。近年はNHKスペシャル「ワーキングプア～働いても働いても豊かになれない」(2006年)、「無縁社会～無縁死3万2千人の衝撃」(2010年)、「終の住処はどこに 老人漂流社会」(2013年)などを制作。継続取材の中で見出した現代社会の課題を鋭い感覚で次々に提示。これからの時代、どのような社会を築くべきか、そこで自分はどう生きるべきか、視聴者が我が身を振り返り、深く考えずにいられない番組を制作し続けている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
南海放送 ドキュメンタリー映画「X年後」制作・自主上映グループ	‘棄てられた被ばく’を調査報道するドキュメンタリー映画「X年後」制作及び自主上映活動	1954年アメリカのビキニ水爆実験により被ばくした第五福龍丸事件は有名だが、実は同じ海域で1,000隻近い日本のマグロ漁船が同様に被ばくしていた。南海放送ではこれまであまり知られてこなかった被ばくの実態を9年にわたり調査報道し、全国放送を含む10本の番組を制作。その集大成として2012年に映画「X年後」を制作した。長期取材の中で事実を地道に積み重ねていく番組作りの一方で、全国の希望者に映画を貸し出す自主上映活動など、地方放送局の活動の幅を広げる意欲的な取り組みを行っている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
シリーズ「ふるさとの記憶」プロジェクト (NHK盛岡放送局、「失われた街」模型復元プロジェクト)	津波で失われた被災地の営みを、かつての街並みを復元した模型や住民が語る記憶、発掘した映像で甦らせた	東日本大震災の津波で失われた街並みを模型で復元し、暮らしの記憶を収集・保存する“「失われた街」模型復元プロジェクト”(全国複数大学の建築系研究室が参加)の活動に、NHK盛岡放送局が密着。学生が制作した真っ白な立体模型に、住民が思い出を語りながら色を塗り、模型を完成させる様子を記録したドキュメント「ふるさとの記憶」を放送するとともに現地で模型の展示会を開催してきた。住民、学生、放送局の合作ともいえるこの活動の記録は、人々の記憶の中にある「ふるさと」を後世に伝える貴重なアーカイブスとなっている。

## 第40回放送文化基金賞

### 「個人・グループ部門」

#### － 放送技術 －

受賞者	業績	業績内容・選考理由
加藤 克行 (TBSテレビ)	「 <sup>オメガ</sup> FINDER」 の開発	スマートフォンの地図上で、中継点から FPU 受信基地や SNG 通信衛星などの目標点への方向を一括表示し、また、カメラ画像上に目標点の位置をリアルタイムでオーバーレイ表示する「 <sup>オメガ</sup> FINDER」を開発した。これにより、中継現場に着く前に、適当な中継車の駐車位置の見当をつけることができ、また、送信予定場所から実際に電波を使った受信テストを行わなくても、伝送路上の遮蔽物などの所見が簡単に得られ、中継準備作業の利便性や迅速性を大幅に高めることができた。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
ロケサポ開発チーム 代表 木村 好信 (フジテレビジョン)	遠隔取材支援システム「ロケーションサポーター」の開発	東日本大震災時に汎用インターネット網が機能していたことに着目し、スマートフォンを利用して、複数の取材陣の位置情報を本社デスクはもとより、お互いに確認できる仕組みを構築した。これにより、現場クルーが連絡を取り合うことで、出先のクルーの判断で取材を効率的に進めることが可能となった。また、放送映像を遅延なく現場で確認する機能を活用し、生中継支援や、その後の取材の進め方を判断する助けにもなっている。さらに、プライバシーの保護にも配慮しており、通常時にも活用できる。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
スカイマップ開発グループ 代表 中島 孝 (NHK)	ランドマーク表示システム「スカイマップ」の開発	「スカイマップ」の開発により、ヘリコプターから届く空撮映像に映る駅・学校や交差点の名称、地名がリアルタイムで画面上に表示され、映像に映る現場の位置関係が一目瞭然となった。東日本大震災直後に、全国のNHKヘリを管轄する航空デスクに設置し、被災地を取材するヘリカメラマンへの指示に利用、撮影場所や被災状況の迅速な把握・取材時間の短縮に寄与した。その後も緊急報道を支える必要不可欠なシステムとして、数々の緊急報道現場で活用されている。

#### 特別賞

受賞者	業績	業績内容・選考理由
ラウドネス導入プロジェクト (日本民間放送連盟、NHK、電波産業会)	日本のテレビ放送におけるラウドネス管理の導入	テレビ放送のチャンネル間や番組間の音量感のバラツキを解消するため、平均ラウドネス値による新たな音声レベルの管理方法と基準を確立し、テレビ放送全体に導入した。ITU-R 勧告改訂への意見反映をはじめ、電波産業会 (ARIB) の規定、民放連技術基準の策定などの標準化活動を進めるとともに、新規則の導入・定着のための周知広報活動を積極的に展開した結果、民放連加入の民放は 2012 年 10 月、NHK は 2013 年 4 月に、それぞれラウドネス管理に移行した。音量感の統一に対して、視聴者から高い評価が寄せられている。